

新年のごあいさつ



三重県中小企業団体中央会
会長
佐久間 裕之

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申しあげます。

さて、わが国経済は、緩やかな景気回復が長期間にわたって続いているとされていますが、中小企業・小規模事業者においては、米国の保護主義的な経済政策により増大する先行き不透明感、人口減少による国内市場の縮小、第4次産業革命を巡るグローバル競争の激化、人手不足の深刻化等多くの課題が山積しており、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

このような中、我々中小企業は、地域の経済・雇用の担い手として、自らの経営基盤の強化や持続的成長に向け、より一層の生産性の向上が求められています。そのためには、個々の自助努力に加え、組合等の連携組織が持つ「つながる力」を大いに発揮しながら全力で課題に立ち向うことがますます重要と思われます。

三重県では、「三重県中小企業・小規模企業振興条例」や「みえ産業振興ビジョン」に基づき、新商品開発や販路拡大、人材育成・確保等を支援する様々な施策が講じられており、特に、経営者の高齢化と後継者難に伴う事業承継問題は喫緊の課題であるとして全県を挙げ支援策を展開しているところです。

中央会といたしましても、国・県等と緊密に連携、協働しながら、県内の中小企業並びに中小企業組合が更なる飛躍を遂げられるよう、ものづくり、IT利活用、事業承継、人材育成・確保など時勢に即した事業を積極的かつ意欲的に取り組むとともに、中小企業連携組織を通じた支援事業活動を堅実に展開し、三重県の産業振興の推進並びに地域経済の活性化に全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

本年は、平成から新しい元号となる節目の年です。新たな時代の幕開けとなる本年が、皆様方にとって幸多き1年となりますよう心より祈念申しあげ、新年のあいさつといたします。



三重県知事
鈴木 英敬

明けましておめでとうございます。

三重県中小企業団体中央会並びに会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、オール三重で準備を進めてきた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が盛大に開催され、無事に閉幕しました。多大なご支援を賜りました皆様に改めて深く感謝申し上げます。

2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」が、2021年には「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」が開催されます。さらに、新名神高速道路や東海環状自動車道等の道路網の整備が進み、リニア中央新幹線東京～名古屋間が開業(2027年)するなど、これから10年間を見通した時、三重県がさらなる発展を遂げるための大きなチャンスが続きますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

さて、県内経済は、回復基調が続く一方で、原材料価格の上昇や人手不足等により、厳しい経営環境におかれている中小企業も少なくありません。また、人口減少と超高齢社会の到来、IoTやビッグデータ、AIに代表される第4次産業革命の進展など、大きな変革期を迎えています。

こうしたことから、本県では、昨年11月、概ね10年先を見据えた産業のあるべき姿を示すため、新たに「みえ産業振興ビジョン」を策定しました。ビジョンの基本理念に掲げた、知恵や知識、そして技術を国内外から積極的に取り込み、それらを「組み合わせ」、あるいは「繋ぎ直していく」「KUMINAOSHI」を進めることで、若者が躍動し、「新しい価値」を生み出していけるよう、産業を育成・振興していきたいと考えています。

今後、本県が将来にわたり持続的に発展していくためには、中小企業の皆様が元気にご活躍いただくことが不可欠であり、連携して課題の解決を目指す、三重県中小企業団体中央会のご活躍を期待申し上げるところです。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。